



【戦評シート】

平成 17年 5月 5日(木)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：岩谷 修一
チームA 能代工業 106	チームB 岡山選抜 84

スターター	チームA： 5, 6, 7, 8, 9	チームB： 5, 8, 10, 17, 18
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン(2-2-1ゾーンプレス)	チームB： マンツーマン ゾーン()

能代工業ゾーンプレス、岡山選抜マンツーマンでスタート。岡山選抜は小気味良いパスワークから 竹原、 朴の3Pなどで序盤からペースをつかむ。能代工業は 齋藤、 西山の思いきりのいいシュートで応戦するものの、5分過ぎには岡山選抜 藤井の連続3Pで、14 - 23とリードを許す。能代工業はリズムがつかめず苦しい状況の中で 齋藤、 下山が3Pを決め、29 - 33と4点ビハインドで第1Qを終了。

第2Qに入り、能代工業は 齋藤、 下山、 西山の連続ゴールで逆転に成功するものの、岡山選抜が 竹原の3Pやゴール下などで再び主導権を握る。その後能代工業はリバウンドを取ることができず、攻撃の糸口をつかめないまま53 - 54で前半を折り返す。

第3Q、59 - 63とリードされた場面から、能代工業は 長谷川のジャンプシュート、 下山のインターセプトからのレイアップで同点。たまたま岡山選抜はタイムアウトを取るが、能代工業の攻撃を止めることできない。 西山から鮮やかなアシストパスが 満原へ通り、バスケットカウントで66 - 63。さらに 西山がリバウンド、そしてインターセプトと縦横無尽の活躍をする。リバウンドを支配、ルーズボールを奪取する能代工業らしさがひかり、81 - 68とする。

第4Q も能代工業の勢いは止まらず、106 - 84で快勝した。入学して間もない1年生の活躍が目をつけた試合であった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。